



NO. 294  
2017.5.22

発行  
国土交通省管理職ユニオン  
所在地  
東京都千代田区霞ヶ関2-1-2 中央合同庁舎2号館  
TEL 03-3509-1138  
Eメール  
k-union@alpha.ocn.ne.jp  
ホームページ  
http://www.k-union.network/

# 宿願から増員へ、55歳までの6級昇格フルタイム再任用の拡大を目指して



国土交通省管理職ユニオンは、2017年5月27日(土)～28日(日)の2日間、第200回定期全国大会を愛知県豊橋市において開催します。本号にて、議案のダイジェストを紹介いたします。

## ◆私たちを取り巻く情勢の特徴

**職場を取り巻く情勢**  
組織定員では、予算定員は国土交通省全体で194の純減となり、昨年度の242の純減を下回っています。地方整備局では純減数を上回る減員となっています。全国で2015年度は313の係長ポストが空席でしたが、2016年度はさらに増えて500もの係長ポストが空席になりました。その結果「一人出張所」が増加しています。

## 2016年度運動の経過と総括

### 公務員産別要求実現の運動

### 退職手当引き下げ反対

**2016年度人事院勧告の取り組み**  
勧告は、月例給、一時金ともに3年連続でプラスとなったものの、俸給表の水準は708円(0.17%)の引き上げという低額勧告を行いました。「給与制度の総合的見直し」の完成が2019年4月1日とされているため、2019年3月31日までの経過措置期間が終われば賃下げになります。配偶者の扶養手当は、私たちの反対を押し切り、29年度から引き下げられました。

## 大会議案ダイジェスト号

退職手当の見直しについては、退職後の生活設計に大きな影響を及ぼし、また労働条件の不利益変更であるため、労働基本権制約の代償機関として適切に対応をするよう3月に人事院に申し入れを行っており、これ以上の退職手当の引き下げには反対していきます。

## 業務執行改善の取り組み

### 増員策運動

### 熊本復興事務所新設実現

ユニオンは、第19回定期大会では「増員策」(素案)を発表し、内閣人事局および本省当局に「熊本震災の復旧・復興の事務所の新設」「テックフォースの組織要求」などの緊急要求書を提出し、上京同等で当局に実現を迫りました。結果、国土交通省全体としての削減は昨年と比べ2

42名の減から194名の減になったにも関わらず地方整備局では昨年より多い削減数となっています。熊本復興事務所の新設要求は実現しています。

一般職員予定定員比較

	2014年度	2015年度	2016年度	増減	2017年度	増減
地方整備局	19,932	19,674	19,455	-219	19,226	-229
国土地理院	695	689	681	-8	675	-6
海上保安庁	13,208	13,422	13,622	200	13,744	118

地方整備局には港湾含む

## 職場環境改善の取り組み

### 「テックフォース」の環境改善の取り組み

昨年も熊本震災など複数の箇所にテックフォース(以下「テック」という)が派遣されました。ユニオンはテックの問題点を改善点を要求書として提出しています。少しずつですが解決してきています。

### 管理職特別勤務手当

在宅勤務での未支給問題については、近畿、北陸支部では両地整とも折衝等での当局の発言にユニオンスの違いはあっても在宅勤務を行った合理的な理由に

## フルタイム再任用実現の運動

### 地整のフルタイム再任用実現

上京団など職場からの運動を長年積み重ねた結果、2017年度から国土地理院に続き地整(北陸、中部、近畿)で4名のフルタイム再任用が実現しました。3地整だけの採用であり、また管理職経験者のフルタイム採用は北陸地整のみとなっています。ユニオンの運動により地整でのフルタイム再任用に風穴を開けることができました。

## 処遇改善に向けた運動

### 昇格改善の運動

ユニオンは、誰でも55歳までに6級昇格、当面5年退職2年前までに6級昇格できるように、定数改善や職責の評価を見直すことを人事院や国土交通省当局に要求をしています。

### 平成28年度定年退職者の昇格発令状況

役職	既6級	定年退職前6級昇格発令時期					未発令	計
		24ヶ月	21ヶ月	18ヶ月	15ヶ月	12ヶ月		
事務所課長	2	1		54		13	1	71
出張所長	2					35		37
事務所建設専門官	1					2	8	11
事務所官ポスト	7	34	1	4		3		49
副所長	37	1						38
事務所長・管理所長	11							11
局・補佐・専門官	1						5	6
局・課長	9							9
局・官ポスト	54							54
地理	4						2	6
計	128	36	1	58	0	53	16	292

その結果、5級の定数については、2010年(平成22年)度から定数の改善が進められてきました。2015年(平成27年)度から改善は鈍化しています。「誰でも55歳までに6級昇格発令実現」の足がかりとして、基準化を勝ち取る必要があります。

### 第10回管理職アンケート

全国で2013名を集約し、過去最高と比較すると回収率は90%、配布数でも90%の到達点となっています。従来から「職場環境改善の運動」としてきた「パワハラ撲滅」「健康を守る運動」「業務の改善」については、引き続き取り組んでいきます。特に、パ

# 2017年度運動方針(案)

## 全国上京団

昨年9月30日、ユニオン発足以来初めての上京団行動を行い、人事院には18名、内閣人事局には20名の参加で交渉を行いました。各支部で資料を作成し、生の職場実態をもとに交渉をしました。人事院では、現地調査の申し入れについて「現場の状況を知ることが重要。できるだけ(現地調査の)機会を設けたい」と前向きな回答がされています。

ワハラについて「現在も受けている」人が32名あります。今後、アンケート結果及び各支部から出された課題点を要求書として取りまとめ、交渉等で追求していきます。

### 運動を進める基本

第一、管理職が仕事と生活にふさわしい処遇を保障されるべきである。  
第二、退職後の生活も、安定的に普通の生活が営めるようにされるべきである。  
第三、仕事に誇りを持ち充実した生活を送りたい。  
第四、国土交通省(旧建設省)と公共事業が、国民にとって必要な存在であるということが、社会的に強く望まれるようにしたい。  
の四点を掲げ、運動を進めていきます。

### 重点要求と運動

#### 国民の期待に応える事業執行を目指す

#### 増員要求の取り組み

連年にわたる大幅な定員削減は、職場に多くの問題を生み出しています。事務所や出張所の係長に多くの欠員が生まれ、委託労働者の抜きでは業務遂行が出来ない状況になっています。増員元年と名を打って運動を進めて3年目となります。内閣人事局などと交渉などを進めてくる中で、旧建設の組織構成がきわめていびつな状況で、業務自体もアウトソーシングが進み増員を行うことが重要であるとの認識をさせてきてい

### 健康と家庭を守る

#### 業務執行体制確立

ユニオンは、「仕事の進め方を見直し、職場環境を改善し、職員の健康と家庭を守るために、以下の運動を取り組みます。

- ・職場に「パワハラ撲滅のルール確立」
- ・超勤時間を一週間10時間、一ヶ月間40時間、年間360時間を限度とする。
- ・休日、勤務時間外には緊急時以外の「メール」行わないこと。

### 60歳以降の働き方について

定年後の年金支給までの接続は、再任用ではなく定年延長によることを基本(本人の選択による)とし、要求していきます。今後も定年延長の要求とあわせ、希望者のフルタイム採用の拡大を粘り強く内閣人事局・人事院・国土交通省当局に働きかけ要求の実現を目指します。

### 年金・共済・退職金に関する要求

以下項目を重点として改善を求めていきます。

- ・事務所長並みの評価替えを行い、各ポストの6・7級定数を拡大すること。
- ・局課長・事務所副所長の7級定数の大幅拡大をすること。
- ・建設専門官ポストの7級定数を拡大すること。
- ・全国の「品確課長」(計画課長)を6級格付けすること。
- ・地理院の「特別な機関」としての格付けを明確にする。同時に、本院、地方測量部課長の6級定数を確保拡大すること。
- ・管理職登用即5級格付けの実現。

### 労使関係に関する要求

いわれなき公務員バッシングが続いており、退職金の更なる引き下げや年金水準の引き下げを画策していますが、こうした動きには断固反対していきます。

### 管理職員の処遇改善について

#### 昇格改善要求

団体交渉は7月、12月期の年2回の開催を求めます。  
・官房長との会見(交渉)は時間を拡大し、予算要求での実施を求めます。  
・差別、格差の解消を追求します。

### 生公連書名 国会議員要請

5月12日(金)衆議院第2議員会館に集合し、国土交通労組や民間の建交労、都市労、水資労等の方々と衆議院、参議院の国会議員に「震災復興、国民の安全・安心の実現へ建設産業の再生を(生公連書名)」等の署名の紹介議員になって欲しいと国会議員要請を行いました。ユニオンからは、5名参加しました。

13時30分から国会議員要請で、ユニオンは49名の議員の割り当てがあり、1名ないし2名でチームを作り、参議院議員、衆議院議員と個別に議員会館の議員室を訪問し、要請を行いました。

